

商工業振興条例の制定は

町長 県・市町村の動向を見て



高野賢治 議員

問 町の商工業振興策は、
町長 中小企業融資制度、るびーモール虹ヶ丘商店街へのイベント補助金支援・商工会への年末景品付歳末大売出し事業補助金を決定しており、国・県・関係機関と連携し商工業

の振興に取組みます。
問 商工業振興条例の制定は。

町長 県内の制定状況は宮崎県が準備段階であり、県及び市町村の動向を見て参ります。
問 防音工事に伴う空調設備の更新は。

町長 住宅防音工事が完了した日から10年経過し、その機能の一部を損なっていれば10%の自己負担で取り替え



今年4月に小中一貫校として開校した田園の里新田学園

消防機庫の多機能化は

町長 新設は備蓄避難を検討



阿萬誠郎 議員

問 農業用ため池（新田13力所）が老朽化している。施設の予防保全対策と長寿命化の推進について、「農業水

利施設・機能総合診断士」の支援が必要ではないか。
農業振興課長 平成17年度に、緊急点検を行い一部のため池の危険度が高くなっています。早急に関係水利組合と協議を進めます。危険性を踏まえた総合

ることが出来る。個人が補助事業者となり国に申請する補助事業であり、実績等は国の方針として公表されており、把握できていません。
問 情報通信設備の完成後の利活用は。

町長 町の立場はあくまでもIP告知放送と、IP電話が目的であり、プロバイダーを通したインターネットの利用は可能という方針。今後の利活用は国と協議を進めています。
問 小中一貫教育は。

教育長 小学生が中学校の先生の授業が楽しみだ。中学生がリーダー性をもって小学生に接し、自分に自身をもって活動に取組む等の成果が見られる。これからの実践により多くの成果や課題が出てくるので、その都度改善を図っていく。富田小中、上新田小中は連携型の一貫教育の準備を進めています。
問 消防機庫は、地域住民を守る重要な防災拠点である。災害に強い自立分散型の多機能な複合型施設（緊急避難所・食糧備蓄・電源確保等）を分団毎、構築できないのか。又、急がれる移転新築分は、新富モデルとして、しっかり実行してもらいたい。

防災基地対策課長 新設される機庫は、備蓄と避難機能を検討すべきであります。
問 災害時の火災は、より早い初期消火で減



建設から長年経ち老朽化が著しく替えが待たれる消防機庫

災できる。顔の見える防災訓練の一環として、地区住民参加の町水道消火栓を活用した、消火訓練を実施してはどうか。
防災基地対策課長 地震による火災に備え、消防団、自主防災組織（地域住民）が連携しての消火訓練は大切なことです。
問 身寄りのない高齢者の権利擁護が切望されている。市民後見人の育成推進に取り組むべきではないか。
町長 市民後見人を確保する体制づくりの推進に務めます。

がん検査受診の普及対策は

町 長 健康しんとみダイジェスト版配布



倉永豪修 議員

〔問〕 世界有数の「がん

大国」である我が国は、健康を守る検診、受診率は、発展途上国と言われています。肺がん、胃がん等の対策、検査普及、啓発、CT検診の導入は。

〔問〕 通学路の安全対策、総点検の結果。又安全点検体制を継続させ、検証する体制の構築は。

〔教育長〕 危険個所の対策として、草刈り、カーブミラーの設置やガードパイプの設置について



町健康保健センター前でがん検診を行うがん検診車

て、関係機関と改善に向け取り組んでいるところ。今後も安全対策は、関係各課、関係機関と協議しながらこの体制を継続し検証、改善に努めてまいります。

〔問〕 災害発生時、町民への情報伝達、情報収集のあり方、正しい情報

が確実に伝わる仕組みの構築は。

〔防災基地対策課長〕 昨年度、全国瞬時警報シ

ステムを設置して、地震や津波、武力攻撃などの災害時に、国から送られてくる緊急情報を人工衛星等を活用して、瞬時に防災行政無線を起動して、情報を伝達出来るようになりました。

いじめ防止教育委員会の考えは

町 長 緊張感と危機意識で取組



比江島義秋 議員

〔問〕 いじめ防止について教育委員会の考えは。

〔教育長〕 いじめはこの学校・学級でも起こり得るもので常に緊張感と危機意識をもって取り組んでおります。

〔問〕 大津市でいじめによる生徒の自殺で、市と教育委員会が対立、これをどう受け止めますか。

〔教育長〕 教育委員会の姿勢が問われるところであり、事実を認識した段階で早く市と教育委員会との情報共有を図るべきであったと思います。

〔問〕 町長は大津市の件をどう思うか伺います。

〔町長〕 町の場合、行政区分が独立しているが、同じ町という事での連携が必要。教育委員会ともお互いに連携をと

りながら町としての姿勢を出していきたい。

〔問〕 小中学校、全国学力調査の意義は。

〔教育長〕 教育委員会、学校が児童・生徒の学力や学習状況を分析、その成果と課題を把握、児童・生徒一人ひとりの学習改善や学習意欲の向上を目的に実施されています。



町内小学校の授業風景 (写真提供：教育委員会)

〔問〕 上新田小学校建設に向けての基本的な考え方は。

〔教育長〕 小学校から中学校までの9年間、小中一貫教育で取組みます。施設は一体型(中学校隣)か連携型(現小学校跡)建設か協議中です。

5年後の上新田小の児童数は55名程度減るとみています。一貫教育の重要性と合わせて建設検討委員会で検討中であります。



新富町のほぼ中央に位置し騒音の影響が大きい新田原飛行場

商業所得額の推移は

町長

昨年度比20%減、19年度比35%減



三浦千尋 議員

〔問〕 基地交付金額の推移は。

〔防〕 基地対策課長 交付額は平成22年度比、1500万円減少。

〔問〕 基地交付金は財政補給金としての性格があり、国益に資することとして、本町財政需要増対策での町長具体案は。

〔町長〕 町の中心部に基地が所在、町のリスクは甚大であることを訴えています。

〔問〕 沖縄県の各自治体は徹底した分離分割発注を、沖縄防衛局に要請。地元業者入札に万全を期していることを参考にすべきである。基地工事、防衛補助事業に対する入札は。

〔防〕 基地対策課長 基地大型工事参入なし、3千万円内工事一部落札。平成23年度は18件中3件、委託事業なし。

〔町長〕 町業者の入札資格はBランクの1社のみで下請け程度です。

〔問〕 商業所得額の推移を通して本町はインフレかデフレか。

〔まちおこし政策課長〕 商業所得額は昨年度対比20%減、平成19年度対比、35%減少。インフレかデフレか不詳であります。

〔問〕 民需依存に限界の時期で行政の役割が急務。景気刺激策、商工業策を長期スパンで、地元（場）産業へ積極的な取組みが必要である。現在大変なデフレで、予定されている消費税率アップによる本町への影響は。

〔町長〕 将来のことで試算してない。国の動向を見ていきます。

有線ラジオ放送の仕様は

町長

高速インターネット可能に



小嶋崇嗣 議員

〔問〕 なぜ、この事業を防衛補助事業で取り組んだのか。

〔まちおこし政策課長〕 住民からの高速イン

ターネット網の整備を望む声が多かった。どの事業で取り組むか検討したが総務省事業では無理であったため、防衛の民生安定事業を活用して、有線ラジオ放送設備の整備を進めることとしました。



情報通信の過疎地、町民の願望である高速インターネットは

〔問〕 それは、経緯であって根拠ではない。考えられる根拠とは、騒音により無線等の音声が届かない、電話の通話時間が長くなる、火災報知機の警告音より騒音のほうが大きいなど、騒音に起因した障害が多く存在している。その障害を少しでも解消するために双方向で伝達の出来る情報通信網の整備を防衛事業で取り組む事は当然の根拠であると考えられる。

〔副町長〕 民生安定事業の趣旨からいえばそのような側面もあると考えられます。

〔問〕 今回の仕様はどうなっているのか。

〔まちおこし政策課長〕 IP告知放送設備を利用した防災行政放送と町内通話無料のIP電話を全戸に整備、希望者には高速インターネットが可能となります。

〔問〕 多くの費用を使っている事業、将来どのように行政サービスや活用が出来るのか検討が必要。インターネット利用料金も住民負担を少なくしなければ自前で整備した意味がない。

〔町長〕 今後、検討します。

農業情報を集約し発信しては

町長 顔が見える情報交換に取組む



増永逸雄 議員

〔問〕 就農支援資金、青年就農給付金などが整いつつあります。新富町らしい野菜と畜産の町として、農業振興、担い手事業の推進と共に情報の集約、発信を行って欲しいが、考えを伺います。

町長 います。いろんな顔が見える中で、しっかりと取り組んで行きたい。この情報時代にどのような情報を入力提供し、かつ情報交換の場となつて、顔が見える販売網や婚活等に情報がより広がり、いいものに繋がって行けばよいと思います。

〔問〕 太陽光発電設備の設置補助予算が8月21日で終わりました。目的目標がないのな



一般型農業支援事業で購入したいも掘り機（ハーベスター）

ら、早めに事業を継続するの中断するの方向性を示すべきだ。今後の、予算措置はどうするのか。

〔環境水道課長〕

再生エネルギーは、拡大して行くだろうから国、県を注視しながら進めて行きます。

〔問〕 東日本大震災の復興には、技術者や保健師などマンパワーが必要。官、民一体の支援は出来ないか。また、復興支援の経

験が、災害時にはいかされるよい機会だと思ふが、人員確保などについて伺います。

〔総務財政課長〕 昨年も、2名の職員をガレキ処理の事務に派遣した。今般、県から人材派遣の要請がありました。期間は半年以上と長期のため、町職員に周知して検討します。

相手に棄却を求め争う姿勢では

副町長

裁判所の権限で和解勧告



丹 邦敏 議員

〔問〕 第1回公判では、相手に棄却を求め争う姿勢であったが、和解議案が上程された。裁判の継続は。

〔副町長〕 現在3回の公判があり、原告の主張に対して争う考えです。今回の和解は、裁判所の権限で和解勧告がなされたもので、やむを得ないものと判断し、議会に提案したものです。

〔問〕 和解勧告の内容を

ちゃんと把握、理解、審議し上程したのか。

〔副町長〕 裁判所から和解をする意思の確認が、弁護士を通じて町に対してあり、町は、内容等を検討した上で、そういうものに対して、対処中という返事をしました。その結果、弁護士を通じて、裁判所の権限において、提案がなされたものです。

〔問〕 この和解条項の1、3、これは違法行為です。判決は出ていないが、安全配慮義務違反になる。これを認めたら以前の答弁はうそになるが。

〔問〕 正当性があれば、町民のために争ってもらいたい。また、記者会見を開いて、町民にその旨を公表してもらいたい。

〔副町長〕 今回の和解は、裁判所の勧告という重いもので、それをしっかりと受け止め、熟慮の結果、こういう方向を出させていたいただきました。



宮崎地方裁判所



溜水地区の民家に設置している騒音測定装置の集音マイク

共同訓練後コンタ見直し本当か

町長

そのように聞いている



永友繁喜 議員

問 新田原基地の工事も終わり、今年度中にも日米共同訓練の実施が考えられます。訓練実施後コンタの見直しをすると聞いているが、本当か。

町長 まだ、国から聞いていません。
問 町は目視調査をしているが、データをどのように活用するのか。
防災基地対策課長 あらゆる協議の場面で活用します。

問 町営住宅の入居契約については民間のアパートでは、数年おきに契約更新がされるが、町営住宅では、更新手続きはしないのか。
都市建設課長 契約更新はしていません。
問 昭和37年に町営住宅の事業が始まり、当時から入居者の保証人は、年々高齢者になり、収入も無く、保証能力が担保できないのでは。
都市建設課長 議員、ご指摘のとおり今後、見直していきます。
問 口蹄疫の対策について、今の復興率は、65%です。従来の畜産経営を確保するには、おもいきった増頭対策が必要ではないか。
農業振興課長 今後、支援対策を考えていきます。

民主党・防衛省へ要望活動

告示後住宅制度見直し 政治主導で党にて工夫

基地対策特別委員会は、7月3日渡辺防衛副大臣、藤田財務副大臣と面談、民主党陳情対策本部 徳永副幹事長を表彰、要望書に沿って詳細を説明し、空幕 森田総務部長、防衛省地方協力局長、鈴木次長をはじめ他担当官へ、日頃の支援御礼に合わせ細部にわたる本町議会としての要望を行い、回答を得ながら委員一丸となって質疑を行いました。

7月4日は、内閣府総理補佐官 長島氏を表敬訪問し、民主党田氏、自民党宇都氏の各防衛委員と意見交換を行うと同時に、新田原基地の重要性や、特に九州・沖縄周辺を取り巻く様々な事案及び今後のリスク状況について、現場担当者としての認識を伺うことができました。

今回の調査は、騒音対策の遅れ、殊に告示後住宅の未整備や税配分の公正性を理由に一般競争入札の状態化による地元企業落札の激減をはじめ、いわゆる基地周辺環境改善の為の所要額の確保やスピード感が感じられないこと等、騒音による不公平性の早期解決を眼目と致しました。

明快な要望解決の答弁は叶いませんが、①告示後住宅制度の見直しは、政治主導として党にて工夫する。②入札の件は、地元考慮の事例として沖縄を参考に、工夫の余地があることを担当官に指示いただいたこと。③先のモニタリングとしての

防音工事対象家屋への太陽光発電装置設置の件は、時代の要請でもあり防衛省として積極推進の立場で努力中である。以上、改善可能性に向けた糸口を見出したことを委員全員で確認できました。

一方、多くの要望に対し、或いは毎年同様の要望事項における前進が見られていないことも同時に認めなければなりません。

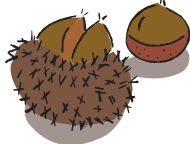
引き続き、住民の為、そして町民の強い要望である騒音対策に対し、一件でも一日でも早い改善解決に向けて鋭意努力するとともに、実行行動こそ求められることとして報告と致します。

(基地対策特別委員会
委員長 三浦千尋)

カ・メ・ラ・探・訪



▲焼酎の原料黄金千貫の収穫を終えて



▲花言葉
「情熱、悲しい思い出、独立、再会、あきらめ」、秋の彼岸のころに咲くことから名付けられた。
(出典：花言葉辞典)



▲健康寿命を延ばして長生きしてね!



▲9月22日 町防災訓練で避難行動中



▲近くの農園で、ぶどう狩りをさせてもらいました。

町民の声

議会に寄せられた
町民の皆様の声です。

『若い人たちが住みよい町に』
上新田や富田に比べて子供が少ない。小さい子が遊べる様な公共施設があれば少しは新田地区で子育てしようと思う人が増えるのではないのでしょうか、町営住宅の空き家も多く景観も良くない。人口増加の為に活気づくりを考えてほしい。

新田 T・Aさん

人間は年をとると体のあちこちが痛くなったり、不自由になったり、ガタがでてくる。本町も最近になつていろいろガタが出てきたが、景気対策や訴訟の問題、基地の機能の強化などに、しっかり対応してもらいたい。

上富田 T・Oさん

もう音はいらない。県民反対の中、沖繩にオスプレイが配備された。新田原基地にもF15が10機増える。音の負担は、もうこれ以上いらない。断固反対だ。

日置 M・Nさん

編集後記

台風16号が敬老会に合わせたようにやって来て慌しかった。それでも、涼しい風を運んで来てくれたのでエアコンはいらなくなったが、新田原基地が騒々しくなり、また必要になつてきた。

九州防衛局によると、新田原基地にF15は約30機配備、全国の空自基地から約10機を追加配備し40機程度になる見込みだ。今回の飛行教育態勢の見直しは、松島基地の被災状況がとても深刻で復旧が進まなためとして行っている。果たしてそうだろうか。軒を貸して居座られるのではないかな不安である。町民にとっては関心の的であり、しっかりと目を見開いて見つめて行きたい。

逸雄

議会広報編集特別委員会

委員長 下村 豊
副委員長 阿萬 誠郎
委員 永友 繁喜
委員 倉永 豪修
委員 高野 賢治
委員 増永 逸雄

※連絡先 議会事務局

TEL 33-6139